・横浜市教育実習面接依頼書（内諾方式用）

・横浜市教育実習面接依頼書（追加募集用）

・横浜市教育実習生受入承認書

・横浜市麻しんに関する記載書

・教育実習を行うまでに身に付けてほしいこと

・横浜市教育実習連絡カード

・横浜市教育実習辞退届

・教育実習日誌フォームＡ(A4一枚)、Ｂ(A4一枚)、Ｃ(A4二枚)

令和　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　学校長

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (大学等名)

(職名)

(教育実習担当責任者氏名)(押印)

横浜市教育実習面接依頼書（内諾方式用）

　次の学生の面接の実施をお願いいたします。

学生氏名

性　　別

学　　年

学部・学科等

教科又は職種(養護・栄養)

実施希望時期・期間

学生連絡先

同封書類 ・「横浜市教育実習生受入承認書」…１部

・「横浜市麻しんに関する記載書」…１部

・返信用封筒…１枚

申請にあたっては、次の事項を確認済みです。

　(1) 横浜市教育実習システムガイドを熟読し、内容を確認しています。

　(2) 申請期間を厳守します。

(3) 面接前の指導を行っています。

◆受入れが決定した場合の手続きについて

(1) 「教育実習を行うまでに身に付けてほしいこと」及び、「横浜市教育実習連絡カード」を学生に配付し、指導します。また、「横浜市教育実習連絡カード」を期日までに貴校に提出します。

(2) 評価票は、横浜市の指定フォームを使用することを承知しています。

◆学生の指導・責任

教育実習を行うために必要な事前指導を徹底し、「横浜市 教育実習に関する誓約書」に記載された事項を学生に遵守させます。万一、守れない場合はその責任を本学が負います。

問合せ先

令和　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　学校長

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (大学等名)

(職名)

(教育実習担当責任者氏名)(押印)

横浜市教育実習面接依頼書（追加募集用）

　次の学生の面接の実施をお願いいたします。

学生氏名

性　　別

学　　年

学部・学科等

教科又は職種(養護・栄養)

実施希望時期・期間

学生連絡先

同封書類 ・「横浜市教育実習生受入承認書」…１部

・「横浜市麻しんに関する記載書」…１部

・返信用封筒…１枚

　 ※「面接用志願書」は学生から受入校へ直接提出

申請にあたっては、次の事項を確認済みです。

　(1) 横浜市教育実習システムガイドを熟読し、内容を確認しています。

　(2) 申請学生は「横浜市の教員を目指している学生」です。

(3) 面接前の指導を行っています。

◆受入れが決定した場合の手続きについて

(1) 「教育実習を行うまでに身に付けてほしいこと」及び、「横浜市教育実習連絡カード」を学生に配付し、指導します。また、「横浜市教育実習連絡カード」を期日までに貴校に提出します。

(2) 評価票は、横浜市の指定フォームを使用することを承知しています。

◆学生の指導・責任

教育実習を行うために必要な事前指導を徹底し、「横浜市 教育実習に関する誓約書」に記載された事項を学生に遵守させます。万一、守れない場合はその責任を本学が負います。

問合せ先

令和　　年　　月　　日

横浜市教育実習生受入承認書

(大学等名)

(大学等責任者役職)

(大学等責任者氏名) 様

横浜市立　　　　　　　　　学校

校　　長 　 　印

　横浜市立学校教育実習実施要綱第８条第２項の規定により、次のとおり受入れを承認しましたので通知します。

なお、教育実習生が横浜市立学校の指導に従わない場合又は、市立学校の正常な教育活動を妨げる恐れのある行為を行った場合は、教育実習受入れの承認を取り消すことがあります。

(大学等記入欄)

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 学生氏名 | |  | | 学部・学科等名 |  | | |  |
| 教科・職種 | |  | | 希望期間 | (週間／日) | | |
| 第　　期 | | |
| 大学等の  教育実習  責任者の情報 | 責任者氏名 | |  | | | | |
| 部署・役職 | |  | | | | |
| 電話番号 | |  | | | FAX番号 |  |
| 組織Eメールアドレス | |  | | | | |
| 大学等の  教育実習  実務担当者  の情報 | 実務担当者氏名 | |  | | | | |
| 部署・役職 | |  | | | | |
| 電話番号 | |  | | | FAX番号 |  |
| 組織Eメールアドレス | |  | | | | |
|  | 市立学校への  連絡事項(任意) |  | | | | | | |  |

(市立学校記入欄)ゴム印可

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 市立学校の  教育実習  実務担当者  の情報 | 実務担当者氏名 |  | | 職名 | |  |  |
| 学校所在地 |  | | | | |
| 電話番号 |  | FAX番号 | |  | |
| 組織Eメールアドレス |  | | | | |
|  | 受入予定時期  （いずれかに○） | 第１期　　　　　　　　第２期　　　　　　　　　その他の時期  （おおむね５～6月）　　（おおむね9月～11月）　 　　　（　　　　　　　　　　　　　　） | | | | | |  |
|  | 大学等への  連絡事項(任意) |  | | | | | |  |

※双方の情報に変更が生じた場合は、実務担当者間で情報を更新してください。

令和　　年　　月　　日

横浜市麻しんに関する記載書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大学等名 | |  |
| 学部・学科等名 | |  |
| 学生氏名 | |  |
| 麻しんに関する記載を、　１　学生自身が次に記載します。    ２　大学等が別紙を添付します。  １、２のいずれかに○ | | |
| 学生記入欄（別紙を添付する場合は空欄） | 麻しんの罹患歴 | いずれかに○を付けてください。  ありの場合は、時期も御記入ください。  なし  あり　時期 |
| 予防接種歴 | 第１回　時期  第２回　時期 |
| 備考 | |  |

※未罹患かつ未接種の学生は、必ず予防接種を受けた後に、面接に臨んでください。

※別紙を添付する場合は本用紙を上にして、綴じてください。

表面

❏❏❏来年度、横浜市で教育実習を行う学生の皆様へ❏❏❏

教育実習を円滑に行うために、来年度の教育実習時までに次の事項を身に付けておきましょう。

**教育実習を行うまでに身に付けてほしいこと**

１　教職の素養

**(1) 自己研鑽・探究力**

　　・指導者の助言を素直に受け入れ、それを基に自身で考えることができる。

　　・自ら積極的に質問したり、様々な活動に意欲的に参加したりできる。

**(2) 関心・意欲**

　　・教員の役割や使命を十分理解した上で、教育実習に臨むことができる。

　　・児童生徒に向き合い、丁寧に関わっていこうという意欲がある。

**(3) 使命感・責任感**

　　・社会人としてのマナーや法令等を守ることができる。

　　・教育実習中は教員と同様の立場であることをわきまえ、行動することができる。

**(4) 人間性・社会性**

　　・人との信頼関係を築こうと努めている。

　　・人間性や教職の専門性を高めるために、様々な経験を積んでいる。

**(5) コミュニケーション**

　　・人と積極的に関わり、協力して活動することができる。

　　・自身の思いを伝えたり、相手の気持ちを察したりすることができる。

２　児童生徒理解

　　・児童生徒の発達の段階に応じた特性をおおむね理解している。

　　・児童生徒と接する心構えができている。

３　授業力

　　・教科等の基礎知識と基本的な授業の組み立て方を理解している。

　　・大学等で学んだ学習指導案の記入方法を理解し、作成することができる。

　 保健室経営（養護実習のみ）

・保健管理や応急処置・対応の基本的事項を理解している。

・個別や集団の保健教育の資料等を作成することができる。

　裏面も御覧ください。

【大学等の御担当者へ】学生への周知をお願いいたします。また、十分な御指導をお願いいたします。

横浜市で学校ボランティアを行ってみませんか？

裏面

学校でボランティアを行うと・・・

①児童生徒と関わることができます。

②学校の様子や教員の仕事を知ることができます。

③教育実習への見通しがもてます。

　また、ボランティアを行うことで、自分が「教員を目指したいのか」「教員としての適性があるのか」について気付くことができ、早い段階で自身の進路選択の方向性を見定めることができます。

　利点の多い学校ボランティアですが、「学校に直接交渉するのは勇気がいる。」「自身の都合に合ったボランティアを探すのが難しい。」という声をよく聞きます。

　そういう方は、まず次のWebページを御覧になってください。ボランティアができる学校の、「最寄り駅」や「活動内容」を閲覧できます。また、短期の活動も記載されているので、忙しい方も利用しやすくなっています。



◆◆WEBページの御案内◆◆　市立学校情報の閲覧や利用方法の確認ができます

「横浜市」で検索 → 横浜市Webページ「よこはま教育実践ボランティア」<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/bosyusaiyou/volunteer/jissenvolu.html>

横浜市には他のボランティアの募集もあります。

❏横浜市立小・中学校アシスタントティーチャー

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/bosyusaiyou/volunteer/assistant.html>

こちらの動画もぜひ御覧ください！　【動画】「先生になりたい」～高校生の教師体験記～

本動画では、主人公の高校生が小学校で学校体験をし、教師の仕事の舞台裏を見たり、「なぜ教師を目指したのか？」「うれしかったこと、つらかったこと」などを先生方から伺ったりすることで、「教師」や「学校」への思いを語っていきます。

<https://youtu.be/nA-1QKEymqo>



◆◆◆教育実習日誌について◆◆◆

　教育実習日誌は、教育実習の体験記録として大変重要なものですが、実習中、日誌の記入に多くの時間を費やしてしまうと、せっかく学校現場にいながら、児童生徒とふれあう時間が減少してしまいます。　　また、指導する教員にも迷惑をかけてしまいます。

効率よく記入ができるように、大学等からの指導をしっかり受けてください。

　次の事項を参考にしてみてください。

**【教育実習日誌のパソコン入力について】**

大学教職員が許可した場合、記入欄の全て又は部分的に、PC入力することが可能です。

ただし、許可された場合でも、学生がＰＣを所有しているか、市立学校のＰＣが貸し出せる場合に限られますので、市立学校での事前打合せ時等に、市立学校指導教員と相談してください。

**【日誌の日々の活動に記入する内容例】**

①　その日に習得したこと、反省点、今後の課題等

②　市立学校指導教員からの助言と、それを今後どのように生かしていくか

③　児童生徒の具体的な様子

④　教員の動き

❏　市立学校指導教員からの助言や、自身が気付いたことは必ずメモを取りましょう。

❏ パソコンが使えない場合は必ず辞書を持参し、誤字・脱字等がないように確認しましょう。

横浜市教育実習連絡カード

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大学名 |  | 名前 |  | 教科等 |  |

**◆次の表は、約１年前に提示した「教育実習を行うまでに身に付けてほしいこと」です。**

**この中で、実習中更に高めていきたいと思う項目に○を付けてください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | | 更に高めていきたい項目に○ |
| １　教職の素養 | | |
| **(1) 自己研鑽・探究力** | ・指導者の助言を素直に受け入れ、それを基に自身で考えることができる。 |  |
| ・自ら積極的に質問したり、様々な活動に意欲的に参加したりできる。 |
| **(2) 関心・意欲** | ・教員の役割や使命を十分理解した上で、教育実習に臨むことができる。 |  |
| ・児童生徒に向き合い、丁寧に関わっていこうという意欲がある。 |
| **(3) 使命感・責任感** | ・社会人としてのマナーや法令等を守ることができる。 |  |
| ・教育実習中は教員と同様の立場であることをわきまえ、行動することができる。 |
| **(4) 人間性・社会性** | ・人との信頼関係を築こうと努めている。 |  |
| ・人間性や教職の専門性を高めるために、様々な経験を積んでいる。 |
| **(5) コミュニケーション** | ・人と積極的に関わり、協力して活動することができる。 |  |
| ・自身の思いを伝えたり、相手の気持ちを察したりすることができる。 |
| ２　児童生徒理解 | | |
| ・児童生徒の発達の段階に応じた特性をおおむね理解している。 | |  |
| ・児童生徒と接する心構えができている。 | |
| ３　授業力 | | |
| ・教科等の基礎知識と基本的な授業の組み立て方を理解している。 | |  |
| ・大学等で学んだ学習指導案の記入方法を理解し、作成することができる。 | |
| 【保健室経営（養護実習のみ）】・保健管理や応急処置・対応の基本的事項を理解している。 | |  |
| 【保健室経営（養護実習のみ）】・個別や集団の保健教育の資料等を作成することができる。 | |

※【指導教員の方へ】学生には、教育実習を行うまでに、上記を身に付けてほしい旨を前年度に伝えています。

**❏ 上記の表で○を付けた部分を高めていくためには、実習中どういう取組が必要だと考えますか。**

**❏ 大学等の授業で何を学び、どう教育実習に生かしていきたいか、また、教育実習中、特に学んでみたい、　　　又は体験したいことを記入してください。**

**❏ 教育実習の実施に当たり、心配なことや不安なことがあれば記入してください。**

**❏ 実習校以外で学校体験活動(インターンシップ、ボランティア等)を行った方は、体験した内容を記入してください。**

**❏ 教育実習日誌のＰＣ(パソコン)入力について、次の質問の回答を選び○を付けてください。**

　 Ｑ１ 日誌へのＰＣ入力を大学等は許可していますか？　　①許可している　②許可していない

Ｑ１で①と答えた方のみ

　 Ｑ２ 実習時に自身が所有しているＰＣ※を使えますか？　①使える　②使えない

　　　　Ｑ３ 横浜市のフォームを使用しますか？ ①Ａを使用 ②Ｂを使用 ③Ｃを使用 ④カスタムを使用 ⑤使用しない

※自身のＰＣを所有していない場合、市立学校のＰＣが貸し出せる場合に限りＰＣ入力ができます。

【大学等の担当者記入欄】大学等からの申し送りがある場合は御記入ください。(個人情報は除く)

★面接時に市立学校から、上記以外のことを記載するよう指示があった場合は裏面に記入してください。

　　令和　　年　　　月　　　日

横浜市教育実習辞退届

　横浜市教育委員会事務局

教職員企画部　教職員育成課長

　　　　　　　　　　　　　　　　　大学等名

　　　　　　　　　　　　　　　　　学生番号

学生名

　横浜市教育委員会へ教育実習の申請をしましたが、都合により辞退いたします。

　令和　　　年　　　　月　　　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　部署

　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

**教育実習日誌**　　　　　　　　　　　　**実習生名前**

フォームＡ（この文字は印刷されません）

枠内に収まらない場合は、①フォントサイズを下げる、②ホーム→段落→行間を選択し間隔を狭くする、等を行ってください。（この文字は印刷されません）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 月 | |  | 日 |  |  | | 曜日　　　天候 | |  | 指導教員確認印 |  |
| 校時 | 教科等 | | | 学級 | | | 指導教員 | | 概要 | | | |
|  |  | | |  | | |  | |  | | | |
| １ |  | | |  | | |  | |  | | | |
| ２ |  | | |  | | |  | |  | | | |
| ３ |  | | |  | | |  | |  | | | |
| ４ |  | | |  | | |  | |  | | | |
|  |  | | |  | | |  | |  | | | |
| ５ |  | | |  | | |  | |  | | | |
| ６ |  | | |  | | |  | |  | | | |
|  |  | | |  | | |  | |  | | | |
|  |  | | |  | | |  | |  | | | |
|  | | | | | | | | | | | | |
| 学校教員  から | |  | | | | | | | | | | |

※横浜市では原則的に表記内容の妥当性のみ指導します。文章の体裁については各大学等で御指導ください。

**教育実習日誌**　　　　　　　　　　　　**実習生名前**

枠内に収まらない場合は、①フォントサイズを下げる、②ホーム→段落→行間を選択し間隔を狭くする、等を行ってください。（この文字は印刷されません）

フォームＢ（この文字は印刷されません）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 月 | |  | | 日 |  |  | 曜日　　　天候 |  | 指導教員確認印 |  |
| 校時 | 学級、教科、指導教員 | | | | | | | 概要 | | | |
|  | 学級 | | |  | | | |  | | | |
| 教科等 | | |  | | | |
| 指導教員 | | |  | | | |
| １ | 学級 | | |  | | | |  | | | |
| 教科等 | | |  | | | |
| 指導教員 | | |  | | | |
| ２ | 学級 | | |  | | | |  | | | |
| 教科等 | | |  | | | |
| 指導教員 | | |  | | | |
| ３ | 学級 | | |  | | | |  | | | |
| 教科等 | | |  | | | |
| 指導教員 | | |  | | | |
| ４ | 学級 | | |  | | | |  | | | |
| 教科等 | | |  | | | |
| 指導教員 | | |  | | | |
|  | 学級 | | |  | | | |  | | | |
| 教科等 | | |  | | | |
| 指導教員 | | |  | | | |
| ５ | 学級 | | |  | | | |  | | | |
| 教科等 | | |  | | | |
| 指導教員 | | |  | | | |
| ６ | 学級 | | |  | | | |  | | | |
| 教科等 | | |  | | | |
| 指導教員 | | |  | | | |
|  | 学級 | | |  | | | |  | | | |
| 教科等 | | |  | | | |
| 指導教員 | | |  | | | |
| 一日の  記録と  反省 | |  | | | | | | | | | | |
| 学校教員  から | |  | | | | | | | | | |

※横浜市では原則的に表記内容の妥当性のみ指導します。文章の体裁については各大学等で御指導ください。

**教育実習日誌**　　　　　　　　　　　　**実習生名前**

枠内に収まらない場合は、①フォントサイズを下げる、②ホーム→段落→行間を選択し間隔を狭くする、等を行ってください。（この文字は印刷されません）

フォームＣ（この文字は印刷されません）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 月 |  | 日 | |  |  | 曜日　　　天候 | | |  | 指導教員確認印 |  |
| 校時 | 教科等 | | | 学級 | | | | 指導教員 | 概要 | | | |
|  |  | | |  | | | |  |  | | | |
| １ |  | | |  | | | |  |  | | | |
| ２ |  | | |  | | | |  |  | | | |
| ３ |  | | |  | | | |  |  | | | |
| ４ |  | | |  | | | |  |  | | | |
|  |  | | |  | | | |  |  | | | |
| ５ |  | | |  | | | |  |  | | | |
| ６ |  | | |  | | | |  |  | | | |
|  |  | | |  | | | |  |  | | | |
|  |  | | |  | | | |  |  | | | |
| 特別活動  部活動  その他の活動 | | |  | | | | | | | | | |

枠内に収まらない場合は、①フォントサイズを下げる、②ホーム→段落→行間を選択し間隔を狭くする、等を行ってください。（この文字は印刷されません）

|  |  |
| --- | --- |
| 一日の記録と反省 | |
|  | |
| 学校教員から |  |

※横浜市では原則的に表記内容の妥当性のみ指導します。文章の体裁については各大学等で御指導ください。